

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2016.9.1 ~ 9.30)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』695・696 合併号 (2016年9・10月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	10	6	16
受 贈	0	0	0
合 計	10	6	16

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 20日
閲覧者数 14名
貸出図書 4冊

コピーサービス

学外 8件 517枚
学内 0件 0枚

日 誌

- 1日 B3書庫クリーニング(イカリ消毒, ~5日)
大原社会政策研究会(第26回)
畠中亨(帝京平成大学地域医療学部助教)「貧困対策の社会政策における位置」(於:神奈川県立藤野芸術の家)
- 7日 事務会議
労働史研究機関国際協会(IALHI)(ヘルシンキ, 出張: 榎, ~11日)
- 12日 労働科学研究所旧蔵資料整理, 移動(榎, ~14日)
- 16日 労働科学研究所旧蔵資料配架作業
- 20日 NHK(ファミリーヒストリー)撮影(対応: 中村)
- 21日 資料事務会議
運営委員会
議題①国際シンポジウム「現代社会と子どもの貧困——福祉・労働・ジェンダー」案について
②兼任研究員の科学研究費助成事業応募に

ついて

③その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会
月例研究会

飯田未希(元客員研究員)「美容〈場〉の誕生
——明治末から大正中期における髪結の作家性
(authorship)の成立」

27日 100年史編纂委員会/100周年記念事業準備委員会

28日 論文データベース会議

資料事務会議

研究員会議

30日 国立国会図書館資料保存研修(折口)

法政大学ミュージアム検討委員会WG(榎)

大原社会問題研究所雑誌

No.699(2017年1月号)

2017年1月1日発行

定価1,000円(本体926円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042(783)2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介（調査報告）」を募集しております。下記の投稿規定と執筆要領に基づいてご投稿ください。 [2015.11.25 改定]

投稿規定

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として 20,000 字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字以内の要旨 3 部、③表題紙 2 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさと、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表1 入れる】等と手書きで指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさと全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、図書の場合、著者名・発行年・書名・出版社名の順に記述する。雑誌論文の場合、著者名・発行年・論文名・雑誌名・巻号・ページ数の順に記述する。ただし、他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2014）「日本製糸業における労務管理の生成とジェンダー」榎一江・小野塚知二編『労務管理の生成と終焉』日本経済評論社。

原伸子（2012）「福祉国家の変容と子どもの貧困——労働のフレキシビリティとケア」『大原社会問題研究所雑誌』649 号、30-46 頁。

Suzuki, Akira (2012) "The Limits and Possibilities of Social Movement Unionism in Japan in the Context of Industrial Relations Institutions," in Akira Suzuki (ed.) *Cross-National Comparisons of Social Movement Unionism: Diversities of Labour Movement Revitalization in Japan, Korea and the United States*. Bern: Peter Lang.